

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月26日

事業所名 仙台市立町たんぽぽホーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・1クラスが多くなり過ぎないように編成している ・家庭の事情で登園人数が少ない日もありますが適切に配置できている ・園庭で遊ぶ際には隣のクラスと時間をずらしたり、散歩に行くなどして工夫してきた ・1クラス10人未満だった為、余裕をもって保育を行ってきた。園庭では時間をずらしスペースの確保に努めた。 	
	②	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・欠員はあったが、学生アルバイトを導入したり、その日の出席状況に合わせて調整しながら行った ・クラスの状況に合わせて職員配置を行っている（状態や登園の仕方によって） ・前日に翌日の登園人数や活動を確認し、調整を行ってきた ・単独通園時には職員を1名ずつつける。登園人数や支援に応じ配置や人数を考えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して欠員状況であったため工夫しながら行ってきた ・単独通園児に加え、勉強会等で分離児がいる場合、不足を感じるのにより安全に見ることができるよう場面毎の配置を更に考えていったり、現況を把握し法人全体で検討し人員を確保出来るようにしていきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて取り組めるようパーテーションで区切ったり、足型マークを使用するなど視覚化してわかりやすい環境を工夫している ・クラスごとに構造化の工夫をしている ・クラスの発達に合わせ構造化したり、視覚的にわかりやすい環境を工夫してきた ・1日の流れを写真提示し見通しをもって生活できるようにしてきた ・必要に応じパーテーションを活用している（遊ぶスペース、食事スペースを区切る、支度など集中できるよう使用）車椅子利用児にはエレベーターを使用し移動した 	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々清掃を行っている ・月8日は事業所の人に清掃を行ってもらっている ・日々職員が清掃を行ったり、月に8回業者に委託しているが、職員の事務時間確保のため委託できる回数を増やして頂きたい ・定期的に消毒を行ったり、部屋の環境などを確認しながら努めてきた ・昼食後、活動後には清掃を行っている 	今後も工夫しながら継続していきたい
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果は公表し、職員で把握し改善に努めている ・できる限り保護者との連携や共有を密に行い、ニーズの把握を行うよう努めている ・職員全体で評価表を確認し、改善点を話し合っている 	

適切な支援の提供	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果は公表し、職員で把握し改善に努めている ・園全体で反省、改善に向けた話し合いを行うと共に、公開を行っている 	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・法人や園内研修、外部研修に定期的に参加している ・人材育成を考慮した研修の内容を組み込むようにしている ・計画的に研修が行われていたことや、年度末に一人ひとりが学びたい研修の聞き取りもあり、学ぶ環境にあった ・研修に参加し療育に生かせるよう意識改善に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が参加しやすいように研修の時間を配慮したり、研修を療育に生かせるように開催時期を考慮したり、後日、伝達講習を行うようにしている ・それぞれが成長できるようにお互いが後輩のファシリテーターを努めるようにしている
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議、モニタリング等を行い、日々の行動観察等適格に行えるアセスメント力を身に着けるよう努力をしたり、チーム全体で考え作成している ・普段から保護者とのコミュニケーションを大切にアセスメントし、作成してきた ・保護者からのニーズ、子どもの様子を職員全員で共有し、よりよい支援計画になるように努めてきた ・子どもの様子やニーズを整理表等でクラス職員がアセスメントを行い、児発管からの客観的な意見も含め作成している 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容はわかりやすく具体的な内容を記すようにしている ・クラスの支援会議では目標だけではなく一緒に支援内容まで考えていくことで、同じ方向性で支援できるようにしてきた ・保護者にわかりやすいよう具体的な事例をあげ取り組みやすい支援内容を伝えている 	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に基づいた支援を行っている ・クラス活動や個別活動に盛り込んでいる ・のびのびなどで支援計画に基づいた支援ができるようにしてきた ・全職員に回覧し支援計画に沿った支援に努めている 	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての活動が偏りなくまんべんなく経験できるように取り入れている ・発達段階に合わせて組まれている ・子どもに応じて興味関心がもてるよう工夫してきた。また季節の行事なども日程や職員配置など考え工夫してきた ・月ごとに活動プログラムを立案し、活動内容が偏らないようにしている 		
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に3回以上の個別プログラムを実施できるよう組み合わせを考えながら作成している 		

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・前日と当日に行っている ・全体、クラス毎に行っている。勤務状態の違いによる共有のモレが無いように努めなければと考えている ・時間の都合でできない時もあったが互いに声をかけながら行えるようにしてきた ・ホワイトボードへ記入しその日支援する職員で見ながら口頭で確認している 	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、全体、クラス毎に行っている ・丁寧に振り返りを行っている。時間の使い方、要約した内容で検討する努力を行っていきたい ・クラスの振り返りではその日の「ねらい」に合わせて、反省を行うなど要点をしばって反省するようにしてきた ・クラス反省を行い気付いた点、反省点、改善点を話し合い共有している 	・時間配分等の工夫が必要であり時間内に出来るよう内容を吟味しながら行っていく
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日々行っているが誰が見てもわかりやすい記録のとり方の工夫が必要 ・日誌に記入し、各職員が確認できるようファイリングしている 	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・時期を決めて行っている ・点検期間を設け見直しを行っている 	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任、必要に応じて主任が参加している ・クラス担任等お子さんの状態を把握している者が担当するようにしている ・担当のクラス職員、主任が参加している 	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域相談員が中心に連携している ・子どもの家庭状況や母子の姿に合わせ、職員同士で話し合い関係機関と連携できるように努めてきた 	・関係機関とのより良い連携を継続する
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		該当者なし	
関係機関	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		該当者なし	

や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援シートを保護者と作成し児にとって必要な支援を伝えている ・卒園してからも卒園児訪問を行うなど、相互の理解に努めてきた ・地域相談員、クラス職員が園を訪問したり電話で連携をとっている 	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて地域相談員が中心に行っている。記録を回覧し全職員に周知している 	・関係機関との連携を強化する
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園が主催した行事に参加させてもらった（1回） 	
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日々ミーティングで振り返りを行ったり、個別に確認している ・保護者のタイプに合わせた伝え方等を職員は行っている ・普段の活動の時から保護者と話す機会を作り互いに共通理解できるように努めてきた ・活動時や振り返り、面談などを設けなるべくリアルタイムで共通理解をもっている 	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングを入園時期に合わせて行っている 	
保 護 者	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に説明している ・入園説明会の時に園長が行っている 	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を提示しながら説明し同意を得ている。また、日々の療育や面談時に支援内容や目標について母と話し合い意見を盛り込んでいる 	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーに行っている ・話しやすい関係作りに努めている ・母の表情にも気を配り話しかけるようにしたり、連絡帳などを使って思いをくみとってきた。対応の部分ではクラスの中でも共有するように努めてきた。 ・保護者からの聞き取りを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に保護者の様子を気に配り、必要に応じて臨機応変に対応しニーズを整理していく ・相談内容によっては、個人情報に配慮しながら、積極的に他の関係機関と連携をとり、支援に繋げていく

への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・申し入れがあった場合は迅速に対応していく ・適宜行っている ・緊急性があるのかを主任等に確認し対応したり、必要に応じて子どもと分離して相談を聴く等、臨機応変に対応するように努めている ・相談がある時は速やかに対応している 	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理場所に施錠、守秘義務の徹底 ・個人が特定されないように提示はひらがな表記している ・注意するよう心がけている ・流失しないよう徹底している（外部に出さない、口外しない） 	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合わせたわかりやすい伝え方を行っている。 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・近年コロナ禍のため行っていなかったが、1クラスだけ地域との幼稚園との交流ができた。今後も地域交流を行っていききたい ・関係機関との関係作りは行っており大切にしている 	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは作成しており、職員には年度初めに確認している。保護者には入園時に周知している ・年度初めなど職員で研修を行う。マニュアルを保育室に提示し保護者にも周知している 	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、避難訓練を実施している ・月1回避難訓練を各災害を想定し行っている 	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察カードに入園時に記載してもらい職員間で周知している ・入園説明会時、健康観察カードを提出してもらっている（継続の方は追加があれば記入してもらっている） 	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を月1回行い、研修も行っている ・虐待防止委員会で毎月対応ケース会議を行っている ・職員間でも月1回話し合いをし、状況を把握したり対応等を確認してきた 	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。